

平成 22 年度第 2 回自動車整備技能登録試験〔学科(口述)試験〕

第 82 回〔一級小型自動車〕

平成 23 年 5 月 8 日

12 問 題 用 紙

〔注意事項〕

1. 試験は問題 1 と問題 2 があり，試験時間はそれぞれ 5 分です。問題 1 が 5 分以内に終了した場合，試験開始後 5 分のブザー吹鳴まで問題 2 には進めません。
2. 試験開始のブザー吹鳴と同時に試験時間がカウントされるので，入室後は速やかに氏名(フルネーム)を申し出て，問題 1 に進みなさい。
3. 試験中，試験委員に対して受験者としてふさわしくない言葉づかい・態度があった場合は，減点の対象となります。
4. 試験終了後は，この問題用紙を持ち帰りなさい。

問題 1. イトウ氏は、「エンジンの始動時に、異音が出るようになった。」という修理を依頼するため、本日、自動車に乗って整備工場を訪れた。下記の情報をもとに、依頼に関する「基本的な問診」を実施しなさい。

なお、問診後に試験委員が点検方法などについて質問するので答えなさい。

続いて、「次回の定期点検の実施時期」について、試験委員の求めに応じてアドバイスをして下さい。

〔自動車に関する情報〕

自動車の種類	小型四輪自家用乗用車
初度登録年月日	平成 17 年 6 月 2 日
エンジン	電子制御式ガソリン・エンジン
総排気量	1.296 ℓ
駆動方式	前輪駆動
トランスミッション	CVT(無段変速)
年間走行距離	約 13,000 km
総走行距離	78,000 km
前回の点検実施日	平成 22 年 6 月 1 日(これ以降は未実施)
" 点検内容	2 年定期点検整備及び日常点検整備
" 走行距離	65,000 km

メモ欄

問題 2. タナカ氏から、「エアコンの風が出ない。」及び、「左後輪のタイヤのエアが抜ける。」という故障の修理依頼と、自動車購入後6年目の「1年定期点検整備」及び「日常点検整備」の依頼があり、必要な点検整備作業を行った。

1. 試験委員の指示に従って点検整備記録簿の情報をもとに、次の(1)～(2)の順序で説明しなさい。

- | |
|-----------------------------------|
| (1) 依頼された故障の状態、修理内容及び修理後の確認結果について |
| (2) 点検整備記録簿の次の項目について |
| ① 交換した項目 |
| ② 調整又は測定の数値のある項目 |

2. 上記「1. (1)～(2)」の説明終了後、試験委員が「タイヤの保守管理を怠った(空気圧不足や摩耗等)場合の影響」について質問するので二つ答えなさい。

なお、試験の都合上、

- ① 点検整備記録簿、交換部品を試験委員に向けて説明する必要はない。
- ② 点検整備記録簿には必要事項を書き込んでもよい。
- ③ 整備保証の適用及び整備料金の説明は行わなくてよい。

〔情報〕

1. 自動車に関する情報

初度登録年月	平成17年5月
自動車の種類	自家用乗用自動車
エンジン	電子制御式ガソリン・エンジン
総排気量	1,348ℓ
駆動方式	前輪駆動
トランスミッション	4速A/T
年間走行距離	約14,000km
総走行距離	84,000km

2. 点検整備作業等

- (1) 「エアコンの風が出ない。」及び、「左後輪のタイヤのエアが抜ける。」という故障の修理と1年定期点検整備及び日常点検整備を実施した。(作業内容は点検整備記録簿のとおり)
- (2) エンジン・オイルとオイル・フィルタはタナカ氏の依頼により交換した。
- (3) 部品交換は、タナカ氏に連絡して了承を得てから行った。

分解整備記録簿(1年定期点検用点検整備記録簿写)

点検の結果及び整備の概要

(☆は1年、5,000km以下の走行距離によって省略できる項目)

点検 良好	良	交換	交	調整	調	清掃	清	省略	省
分解	分	修理	修	締付	締	給油 (水)	給	該当 なし	✓

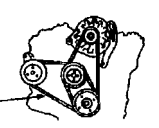
使用者の氏名又は名称 タナカ	自動車登録番号又は車両番号又は 車台番号 省略
住所 省略	点検(整備)時の総走行距離 84,000 km

自動車用乗用車等 別表第6

エンジン・ルーム点検

■パワー・ステアリング

ベルトの緩み、損傷 良 調




■点火装置

☆ スパーク・プラグの状態 (白金プラグ、イリウム・プラグは点検省略可) 良 交

点火時期 良 調

ディストリビュータのキャップの状態 良 交



■冷却装置

ファン・ベルトの緩み・損傷 良 調

冷却水の漏れ 良 修


室内点検

■ブレーキ・ペダル

遊び 良 調

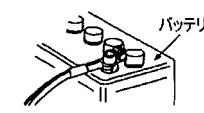
踏み込んだときの床板とのすき間 良 調

ブレーキの効き具合 良 調



■バッテリー


ターミナル部の緩み、腐食 良 修



■パーキング・ブレーキ(レバー・ペダル)

引きしろ(踏みしろ) 良 調

パーキング・ブレーキの効き具合 **5→3ノッチ** 良 調

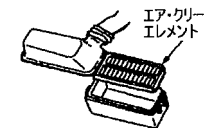


■エンジン

排気ガスの色 良 調

CO、HCの濃度 良 調

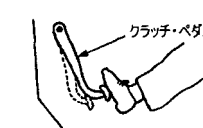
☆ エア・クリーナー・エレメントの汚れ、詰まり、損傷 良 清



■クラッチ・ペダル

遊び 良 調

切れたときの床板とのすき間 良 調

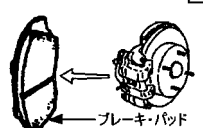


足廻り点検

■ディスク・ブレーキ

☆ ディスクとパッドとのすき間 良 調

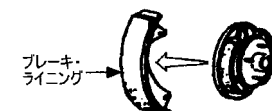
☆ ブレーキ・パッドの摩耗 良 交



■ブレーキ・ドラム

☆ ドラムとライニングとのすき間 良 調

☆ ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの摩耗 良 交



■ホイール

☆ ホイールの空気圧 **フロント190→210kPa** 良 調

☆ タイヤの空気圧 **リア160→180kPa** 良 交

☆ タイヤの亀裂・損傷 良 交

☆ タイヤの溝の深さ、異常摩耗 良 交

スベア・タイヤの空気圧 良 調

☆ ナット、ボルトの緩み 良 締

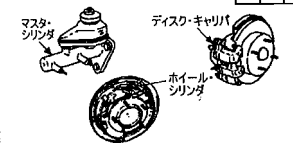
320→420kPa

■ブレーキのマスター・シリンダ、ホイール・シリンダ、ディスク・キャリパ

マスター・シリンダの液漏れ 良 交

ホイール・シリンダの液漏れ 良 交

ディスク・キャリパの液漏れ 良 交




下廻り点検

■トランスミッション、トランスファ

☆ オイルの漏れ 良 修

☆ オイルの量 良 給



■エンジン・オイル

漏れ 良 修

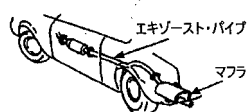
■ブレーキ・ホース、パイプ

漏れ、損傷、取付状態 良 交

■エキゾースト・パイプ、マフラー

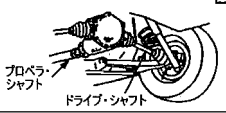
☆ 取付けの緩み、損傷、腐食 良 締 交

☆ 遮熱版の取付けの緩み、損傷、腐食 良 締



■プロペラ・シャフト、ドライブ・シャフト

☆ 連結部の緩み 良 締



日常点検

ブレーキ液の量	良 給
バッテリー液の量	良 給
冷却水の量	良 給
エンジン・オイルの量	良 給 交
エンジンのかかり具合、異音	良 修
低速加速の状態	良 調
ヘッドランプ、ストップ・ランプ、ウインカーランプ等の点灯、汚れ、損傷	良 交
ウインド・ウォッシュャの量	良 給
ウインド・ウォッシュャの噴射状態	良 調
ワイパの拭き取り状態	良 交

厳しい使われ方をした場合のメーカーの指定する点検

■ステアリング装置	分
ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み	良 締
ロッド、アーム類のボールジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷	良 交
■ブレーキ装置	分
ブレーキ・ディスクの摩耗、損傷	良 交
ブレーキ・ドラムの摩耗、損傷	良 交
■サスペンション、動力伝達装置等	分
サスペンションの取付部、連結部の緩みがた、損傷	良 締
ドライブ・シャフトのユニバーサル・ジョイント部のダスト・ブーツ部の亀裂、損傷	良 交
燃料漏れ	良 交

その他の点検項目等

●プロア・モータの内部不良により、エアコンの風が出ていなかった。

●プロア・モータを交換し、エアコンの作動が正常であることを確認した。

●左後輪のエア抜けは、タイヤのレッドに釘が1本刺さっていた。

釘を取り除いた後、パンク修理を実施し、エア抜けが解消したことを確認した。

交換部品等	数量
エンジン・オイル	3.9 l
オイル・フィルタ	1
プロア・モータ	1
パンク修理材	1

メンテナンスに関するアドバイス

注 二年間保存

●CO、HC濃度 (アイドリング時)	●タイヤの溝の深さ (1.6mm以上)	前輪 左 5.1 mm 右 5.0 mm	後輪 左 5.6 mm 右 5.5 mm
CO 省略 %	●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ	前輪 左 7.0 mm 右 7.5 mm	後輪 左 4.0 mm 右 4.5 mm
HC 省略 ppm			

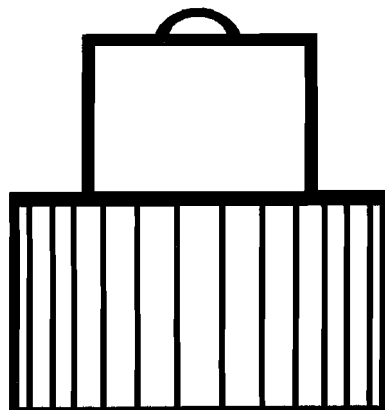
事業場名、所在地、認証番号	省略
---------------	-----------

点検年月日 平成23年5月8日	次回点検年月日 平成24年5月 日
整備完了年月日 平成23年5月8日	整備主任者の氏名 省略

事業場控

問題 2 交換部品等

●ブロア・モータ



●エンジン・オイル
(図は省略)

●タイヤから抜いた釘
(図は省略)

●オイル・フィルタ
(図は省略)